

挑戦

大宮小&済美小&大宮中 夢のタスキを9年間つなぎます！

なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

平成 30 年 11 月 20 日 第 7 号(18-7)

発行責任者：校長 関田 誠

『なでしこの 色鮮やかに 明るく強く 優しい心で 毎日挑戦』

11/5 朝会 校長講話 『真っすぐな少年は大リーグに』の話

こんな行動はなかなかできないけれど…

11月1日は『ふれあい月間』です。皆さんのつながりや絆を、普段より強く意識して点検する月です。今朝は4年ほど前に新聞の投書欄に載っていた、兵庫県の42歳の主婦の方の文章を紹介します。

『息子は小学生の頃、クラスのいじめられキャラだったようで、本人もそれを楽しんでいた。ある日の昼休み、いつものように教室で友達数人とふざけていたら、いじりがエスカレートし、息子がもうつらいと思ったことがあったらしい。その時、「もうええやろ、やめたれや」と言って、家が近くで仲の良い友達が止めてくれた。体が大きく、野球をしているその子は、嫌なムードの教室から「行こうぜ」と息子連れ去ってくれた。「ありがとう」と息子が言うと、「え？何で？」と言って笑ったらしい。その後、私も彼に「あの時はありがとうね」と言ったが、恥ずかしそうに笑った。彼のお母さんにもお礼を言ったら、「そんなことがあったんですか。きっと息子はそれが正しいと思ったんでしょうね」と笑った。（そんな風に育てられたから真っすぐなんやな）と、私は感心した。今でも感謝している彼は田中将大君。大リーグヤンkeesの投手として一歩を踏み出した。』



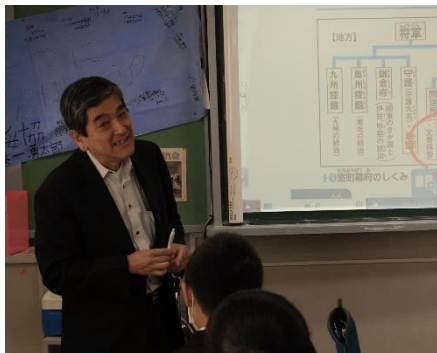
6月に『弄るは、いじめの第一歩』という話をしました。投書の田中将大少年は、学級の中のいじめの芽をさらりと摘み取りました。いじめは放置して傍観していると、あっという間に手に負えない大きさに伸びてしまいますから、素晴らしい機転です。でも、こんなに上手にとっさに対処できる人間は、現実には多くありません。では、誰でもできることは何ですか？それは何か気になることがあったら、今月実施する調査アンケートにひと言書くこと。仲間の事を『気にする』優しさの感覚が重要だと思います。いじめの芽は大宮中にも必ずあります。「ない」と綺麗事を言っても仕方ありません。大切なのは小さな芽のうちに摘み取ることです。6月にも言いました。『人で遊ぶな、人と遊べ』 いじめの本質を突いた言葉です。『で』と『と』の違いを理解して、笑顔の似合う大宮中学校をみんなで創りましょう。 😊

授業ぶらっと訪問⑥

11/14（水）小川先生 1 年 B 組 社会

授業はまず、社会ワークチェックから。小川先生が生徒の間を回って、検印スタンプを素早く押していきます。「うわっ、まだやってないよ。あと20ページもある」と、つぶやく生徒がいます。

今日の授業のテーマは、『鎌倉幕府が滅亡して動乱の半世紀』。まず生徒を指名して教科書を音読させます。「なんで 60



年間も争うの？武士って何のために戦うの？」生徒から「褒美としての領地を広めるため。」という答えが出ます。武士たちはそれぞれの利害で南北に分かれた。どちらについたほうが得か、寝返りも頻繁だった。そのため中々平和が訪れなかった。「ではどうやって争いを終わらせたか？」生徒は分かりません。「将軍は守護に領地の半分の年貢の扱いを任せた。守護と武士との間で主従関係ができた。守護大名＝ミニ大名の勢力が強くなり、南朝が滅ぶことになった」小川先生が生徒に「なぜ？」「どうして？」といった質問をして、足利尊氏の北朝と後醍醐天皇の南朝の争いを、黒板に図解、説明をします。

次にデジタル教科書を使います。『室町幕府のしくみ』を写して、中央（京都）は『管領』が管理、地方は『守護大名→地頭→武士』がまとめる形に変わったことを、生徒に質問しながら確認していきます。将軍の力が弱まり、地方に強い権力を持つ守護大名が現れた。「鎌倉時代との違いは？」という問いに生徒から「執権がなくなった」と出てきます。歴史は面白い。様々な歴史上の事件には、原因・理由がある。そこを考える楽しさを生徒は学びます。

授業のまとめに、「室町幕府と鎌倉幕府のしくみの違いとそれによって武士の主従関係がどう変わったか、〇字でまとめてみよう」といった記述トレーニングをおこなうことで、生徒が授業の中で学んだことを整理して表現できるか見てみたいと思いました。

語句や用語の暗記だけでなく、生徒はどれくらい書けるのか。授業の最後に、小川先生からひと言。「悠長に構えてワークに手を付けていない人。今回は奈良から平安、鎌倉、室町まで期末の範囲があるからね、時間がないよ」に「どうやってまとめよう」とつぶやく生徒が。一年生諸君。あと一週間で期末考査です。

11/14（水）濱田副校長 2 年男子 保体

今日は、渡邊先生がスキー教室実踏で不在のため、濱田副校長がピンチヒッター。秋晴れの校庭でソフトボールです。行ってみると、既にラインとベースが置いてあります。生徒はやる気満々です。濱田先生が登場すると、生徒が集まってきて囲みます。「今日はサッカーでしょう？」等ワイワイ言っています。体育係の4人が前で号令かけ、集合整列。ラジオ体操、校庭一周を走ってウォーミングアップ終了。その後、挨拶をして授業の確認です。濱田副校長は、ソフトボールは四時間目ということを確認して、ゲームのやり方を聞きます。「そうか。A 組対 B 組でやっているんだね。じゃあ、始めよう」の一声で、生徒たちは走ってホームベースに集まります。二年生の動きがキビキビしていて気持ちが良いです。

ゲームが始まると、濱田副校長は主審をやります。



キャッチャーの後ろで、腰を落としてどっしり構えています。大きな声と身振り手振りで「ストライク！、ボール！」の判定。生徒が打って一塁に走ると、一緒にダッシュで走って行って、「セーフ～！・アウト～！」の

判定。濱田副校長、まだまだ軽快な動きです。生徒も攻守に分かれて、自分のチームの応援をしながら、真剣に打ったり投げたり走ったり。最後に片付けをして挨拶を大きな声でおこない終了。私が「あんなに動いて明日、筋肉痛は大丈夫ですか？」と聞くと、濱田副校長「いえ、多分あさってに来ると思います」に大笑いしました。（そして来ました、お約束の筋肉痛…。）

11月14日(水)伊藤先生3年B組 美術

印章ケースの制作の授業です。5/11 時間目です。

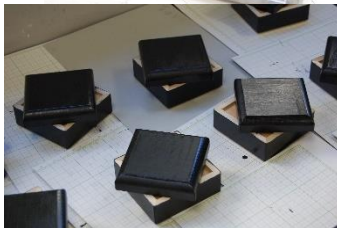
今日の目標は、『最終デザインを決定させ転写しよう。』と黒板に書いてあります。生徒は印章ケースのデザイン画の仕上げに入っています。木の箱は黒で下塗りしてあります。その表面に金色で模様を描くそうです。蒔絵風の



アートを目指しています。その作業の前に、生徒はアートガラスの自己評価をしています。アート



ガラスは制作の終わった作品で、プリントで自分の作品を振り返っていました。今日の自己評価票にも、一生懸命取り組んでいます。伊藤先生は、田口先生の産育休代替です。9月から引き継いで授業を進めています。先日から、声の出し過ぎからか、喉を



痛めてしまい、マスクをしています。終わった生徒から、印章ケースデザインに戻っています。蒔絵のイメージから、富士山、鶴、まり、月うさぎ、竹林、波、落ち葉など和風のデザインが多い様子です。伊藤先生は生徒のまわりをグルグル回って、あれこれ相談に乗っています。油絵の洋画が専門の伊藤先生の助言にうなずく生徒の姿が見られました。そうこうしている間に、あっという間に45分間が過ぎてしまいました。持てるアイディアと画力を総動員して、集中力を切らさない3年生は立派です。最後にこの時間の工程表を記入していました。期末前の貴重な一時間でした。

生徒会役員決定 そして生徒総会

10

19(金)

平成30年度生徒会役員選挙を経て、新生徒会役員が選出され、後期の各学年・学級の各種委員会もスタートしました。生徒総会では、いくつか新しい取組も提案されました。大宮中学校の学校生活を一層楽しく過ごせる取組に挑戦してくれるはずです。

さっそく、新たな取組として、雨天時と校庭が雪で使えない時期の昼休みの体育館の開放を議論しています。三学期から試行していくことになりそうです。今後の自治的な活動を、教職員も応援しています。

生徒会長	徳江光穂(2年A組)
生徒会副会長	佐藤凜子(1年A組)
生徒会書記	塚田美葉(2年A組)
生徒会書記	丸山萌(1年A組)

校外学習(C組) 多摩動物公園

11

16(金)

秋晴れのもと、班行動で永福町駅集合で、電車を乗り継ぎ、多摩動物公園まで行ってきました。出発の後、三つの班に分かれて、2年生が班長役で、永福町駅でパスモにお金をチャージします。それから往路は京王電鉄に乗り、明大前・高幡不動で乗り換えて、無事に到着しました。

多摩動物公園の中では、各自がお目当ての動物を班行動でしっかり観察してきました。モルモットとの触れ合いの時間もありました。昼食は、家庭で準備していただいた弁当をたいらげていました。帰路は往路とは別ルートで、モノレールを使って各班バラバラに永福町駅を目指しました。到着の約束の16時までに、全班揃って解散式をおこなうことができました。



音楽 発表会

10

31 (水)

「つきさされ！我らの Perfect Chorus!」

今年もセシオン杉並で開催しました。当日を迎えるまで、生徒は本当によく練習しました。当日は、校長の私はこんな話をしました。「音楽の世界にはこんな言葉があります。『100 回のレッスンより1回のステージ』。つまり『100 回の練習より 1 回の本番』。どんなに一生懸命練習、研鑽に励んだつもりでも、一回の本番の舞台に勝る上達、飛躍はない。本番の一瞬一瞬を大切に！運動会でも言いました。『達成感、感動のない行事はやるだけ無駄』です。先生たちも保護者の方々も温かく応援しています。」

OBOG 合唱『モルダウ』で開幕です。大宮中卒業のご高齢の先輩方の合唱に魅了されます。

続けてトップバッターは、C 組の歌と演奏。緊張の中、上手に演じてくれました。特に器楽合奏が素晴らしいかったです。各学年の合唱も、学年が上が



C 組合奏『エル・クンパンチェロ』



第 1 学年課題曲『COSMOS』



第 2 学年課題曲『時の旅人』

るにつれて、合唱のレベルがどんどん高くなり、特に 3 年生は貫禄の合唱を響かせてくれました。私は聴いていて鳥肌が立ちました。



第 3 学年課題曲『あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ』

その後、合唱部、有志合唱から PTA 教職員コーラスで盛り上がりました。3 年生は A・B 組いずれの合唱も甲乙付けがたく、審査員の私も悩んでしまいました。最後に準備から当日の運営に頑張ってくれた、音楽発表会実行委員会の皆さんにあらためて感謝します。「ありがとう！」

最優秀賞 3 年 A 組

『言葉にすれば』

優秀賞 3 年 B 組

『虹』

熱演賞 C 組

『365 日の紙飛行機』

ポスター賞 3 年 B 組

※各学級のポスターは玄関に掲示中



地域防災 訓練

10

20 (土)



今年は好天に恵まれる中、地域の震災救援所運営委員会、消防団、区防災課の皆様が集結し、校庭・体育館で訓練を実施しました。各学年で、煙・消火器体験、トイレ・バルーン設営訓練、車椅子・担架体験、間仕切り・AED 訓練を行いました。最後に PTA 役員による炊き出し訓練で作った五目ご飯の配布で終了しました。約 200 名の参加で、防災への備えとなる充実した訓練となりました。